究極の再利用で着物を肥料に

『もったいない』の精神で

循環型社会は実現できるか！？

② 主役は住民・事業者

県内では、各市町の廃棄物関連の行政を担当されている方々のご尽力により、ごみの減量化やリサイクルの推進に向けてさまざまな取り組みや啓発が実施されています。しかし、それらを実行するのは、ごみの発生現場にいる住民と事業者であり、循環型社会の実現に向けて、非常に重要な役割を担っています。シリーズ第二回では、住民と事業者が主役となる先進事例をいくつか紹介します。

全国的な取り組みで、誰もが知るようになったレジ袋の削減は、県内でも、袋の有料化やポイント制による優遇措置を設けるお店が増え、取り組みが浸透しつつあります。

お店で売られている野菜や果物、魚などは、ひと昔前は、トレイに載せてラップをかけて売られていましたが、最近では、並べられた商品の中から必要な数を取り出して、ばら売りするお店も多くなってきました。

また、焼酎の量り売りも見受けられます。容器を持参し、中身（焼酎など）を詰めて持ち帰る方法です。これらについてはお店（事業者）の協力も必要です。

手つかず食品や食べ残しの削減も、大きな効果が期待できます。また、賞味期限切れが近い商品を、あえて購入する方もおられます。

ごみの大部分を占めている生ごみを減らす取り組みとしては、家庭の「生ごみ処理機」で処理した「生ごみ乾燥物」を野菜と交換する取り組みが県内でモデル的に実施されています。

蛍光灯をLED照明に変更する取り組みは、省エネによる地球温暖化防止効果が高く、家庭や事業所でできる簡単な取り組みとして広まっています。この取り組みは、循環型社会の構築にも寄与しています。いわゆる長持ちする製品を購入し、長く使用することは、廃棄物を減らす効果があります。

ひろしま地球環境フォーラムのごみ減量・リサイクル推進マスコット「まったん」

ごみを減らし、リサイクルするアイデアはまだまだあると思います。戦中・戦後の資源が乏しく、物を大事にしていた時代を苦労して生活されてきた年配の方々は、再使用、再利用を繰り返し、結果的にごみを少なくするアイデアをお持ちです。例えば、着物です。着物→古着→使える部分で着物を作る→おしめ→ぞうきん→焚き付け→灰→洗剤や肥料・・・究極の再利用です。この知識の源は、日本特有の『もったいない』の精神に尽きます。商品を購入する時や不要なものを捨てる時など、『もったいない』の言葉を思い出して、循環型社会に貢献しましょう。

（環境保全課　田中日出夫）

エコカンパニーの取り組みの概要

～ひろしま環境大学の事例発表から～

環境カウンセラーひろしまが主催する「平成二十三年度ひろしま環境大学　第五回講座」（一月二十一日開催）で、エコカンパニー（環境に配慮した活動に取り組む事業者）の事例発表会を行った。各社の取り組みを紹介する。

（文責：事務局）

有限会社　セイエン

わが社の環境活動への取り組み

◆取り組みの概要・特徴

自動車部品などのパイプを主に造っており、他社にはできない特殊な技術で生産性の向上と省エネ・省資源を実現している。取引先の要請により、エコアクション21の認証取得に取り組み、エネルギーや廃棄物の抑制に効果を上げている。

通い箱の導入による梱包材の削減や節水コマの設置などによるこまめな節水、ごみの分別徹底などにより、確実に省エネ・省資源が達成でき、なおかつ生産性の向上にもつながった。今後も安全で働きやすい職場づくりをすすめ、生産性の更なる向上と省エネ・省資源に取り組みたい。

（発表者：総務部長　関屋憲二氏）

◆受講者の声

環境経営として理想的である。環境マネジメントから環境経営にステップアップしていると感じ、感心させられた。中小企業の底力を感じた。

事例発表する関屋憲二氏

◆会社概要◆

昭和三十六年創業、昭和四十三年に有限会社設立。従業員三十二人（海外からの実習生含む）。自動車および機械用金属配管部品の製造。平成二十年にエコアクション21を取得。

【ホームページ】http://seien21.com/

株式会社フレスタ

フレスタの環境活動

～スーパーマーケットにできること～

◆会社概要◆

明治20年に創業し、昭和26年10月1日に会社設立。平成23年に創業124周年を迎えた。従業員4,027名。食料品および日用品を販売。平成21年にエコアクション21を取得。

【ホームページ】http:// www.fresta.co.jp/

◆取り組みの概要・特徴

事業活動の環境面での課題（生ごみが出る、資源を使うなど）を解決する重要性を認識し、社内に仕組みを作り運用していくため、エコアクション21を導入。「環境負荷の見える化」「環境教育の継続」などを行い、本業で環境負荷の低減に取り組んでいる。

オリジナル環境配慮商品「Bimi　Smile」ブランドを販売し、安心・安全・環境の視点でお客様のライフサイクル提案を行っていきたい。　（発表者：品質管理室　重村俊幸氏）

事例発表する重村俊幸氏

◆受講者の声

地元スーパーのエコに対する取り組み姿勢がよくわかった。いつも店を利用しているが、意識することのなかった部分や何となく感じていた部分の話が聞けて、有意義だった。

株式会社神戸製鋼所　西条工場

エコアクション21を活用した環境活動

◆会社概要◆

昭和45年7月創業、従業員103名。被覆アーク溶接棒、グリスフィルター製造業。平成17年エコアクション21を取得。

【ホームページ】

http://www.kobelco.co.jp/index.html

◆取り組みの概要・特徴

神戸製鋼グループは、環境経営として取り組んできた活動を生物多様性の視点で整理した「生物多様性指針」を独自に策定。また、環境に配慮した製品を開発した部門や、地道な環境活動を実施している事業所・グループなどを表彰する制度があり、従業員一人ひとりの意識の向上を目的として環境家計簿活動も行っており、モチベーションを高めている。

西条工場では、生物多様性の視点で具体的にどのような取り組みを行っていくか、今後検討・実践していく。

（発表者：環境管理担当　戎田健一氏）

◆受講者の声

大企業の一部の事業所でもしっかり環境への取り組みが行われており、すばらしい。大企業も生物多様性の保全に取り組んでいることが印象に残った。

事例発表する戎田健一氏

広島ガス株式会社

広島ガスの環境への取り組み

◆会社概要◆

明治42年10月創業、従業員656名。ガス事業（都市ガス・プロパンガス）、ガス器具の販売、液化天然ガスの販売。平成11年（廿日市工場）・平成13年（備後工場）・平成21年（東広島製造所）にISO14001認証取得。

【ホームページ】http://www.hiroshima-gas.co.jp/index.htm

◆取り組みの概要・特徴

事例発表する番野哲夫氏

「地域社会から信頼される会社」を経営理念に掲げ、地域・地球環境保全にも取り組んでいる。広島ガスグループは、環境負荷低減に寄与する製品・サービスの提供により、広島県内の約42万2千件のお客様先（家庭・事業者）での二酸化炭素排出量の低減を図り、特にガスコージェネレーションシステムを活用した製品の普及に力を入れている。

地域環境保全にも積極的に取り組み、小学校などへの出前授業や地域環境イベントへの参加、工場見学の受け入れなどを行っている。　（発表者：広報環境部　番野哲夫氏）

◆受講者の声

新型のガス機器を紹介するときに、売り上げよりもガス使用量が削減されることを強調されたのが印象的だった。